

中国では

孫文の死後 (蔣介石) が国民党の指導者となった。

1927年、国民政府を (南京) に移し、国家統一を目指して (北伐) に進軍した。

北伐 という。

日本政府は在留日本人の保護を口実に、(山東) 省に出兵した。

1928年、満州にいた日本軍 (関東軍) が、軍閥の指導者の張作霖 ちやうさくりん が乗っていた列車を火暴石破し殺したといわれている。

諸説あります。

今も決定的な証拠はない。

背景

満州は日本にとって明治以来の重要な市場であり、特に満鉄への投資は満州向け投資の大半となっていた。

当初、張作霖と関東軍の関係は良好だったが、大正時代の終わり頃から関東軍と利害が対立するようになっていた。

さらに、欧米の資本を入れて、満鉄と並行する鉄道を敷設したことで、両者の衝突は避けられなくなった。

↓

こうしたことにより、中国の人々のあいだに排日運動が高まり、日本人への脅迫や日本人に対する暴力事件が多数発生した。